



出所：調査団撮影

-太平洋島嶼地域における観光事業の可能性-

# 太平洋島嶼国経済復興事業（観光分野）

# 太平洋島嶼国にとっての「観光」

本編に入る前に・・・

太平洋島嶼国における観光事業の立ち位置とは？

GDPに占める観光収入の割合は？

# 太平洋島嶼国にとっての「観光」

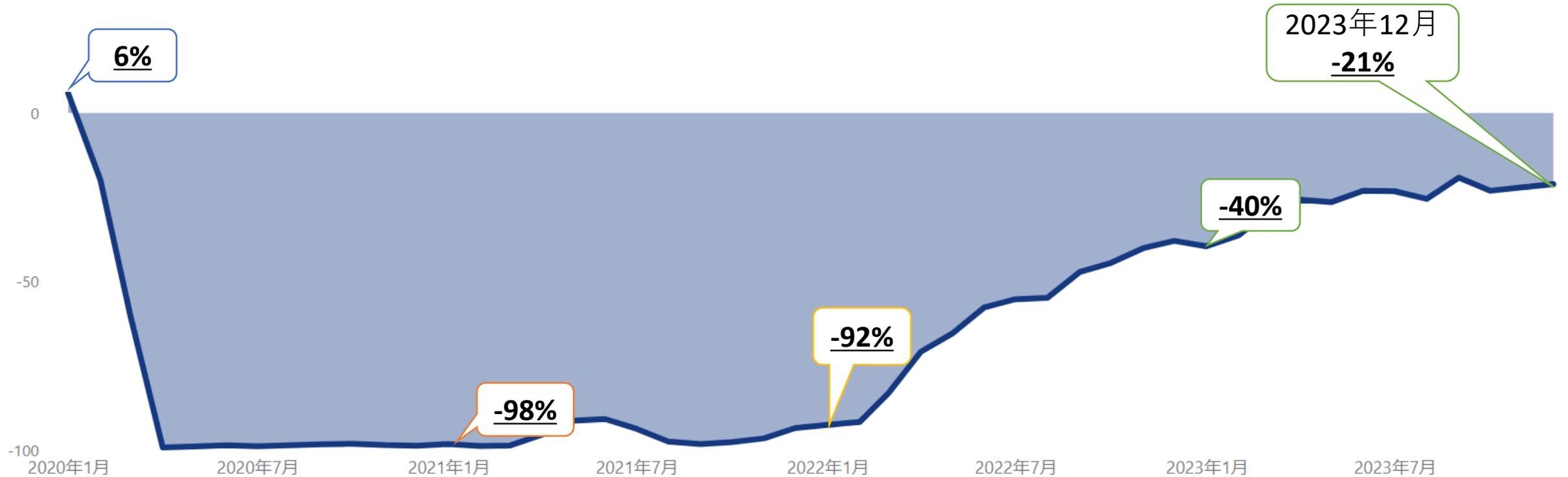
地域	国・経済	推計年	Tourism receipts (USD million)	Proportion to GDP (%)	Expenditure per tourist capita (USD)	Expenditure per tourist (USD)
Micronesia	FSM	2015	44.4	17.7	428	1,468
	Kiribati	2018	9.2	5.1	80	1,348
	Marshall Islands	2016	21.1	9.5	389	3,957
	Nauru			NA		
	Palau	2017	123.0	38.0	6,870	1,002
Melanesia	Fiji	2019	1,396.0	25.8	1,570	1,561
	New Caledonia	2016	291.4	3.1	1,063	2,519
	PNG	2019	352.2	1.5	396	2,224
	Solomon Islands	2019	78.2	5.1	115	2,703
	Vanuatu	2018	187.6	22.6	645	1,555
Polynesia	America Samoa	2017	21.2	3.3	381	1,061
	Cook Islands	2019	224.2	66.1	11,099	1,306
	French Polynesia	2019	744.0	12.8	2,664	3,144
	Niue	2019	7.8	28.1	4,189	764
	Samoa	2019	201.0	24.5	1,000	1,156
	Tonga	2019	55.0	11.1	552	815
	Tuvalu	2018	2.4	5.6	226	879
	Wallis & Futuna			NA		
Others	Timor Leste	2017	222.8	14.1	176	1,879

平均  
約17.3%

## 太平洋島嶼国の観光収入

出所：JICA(2022)大洋州地域大洋州地域における観光開発分野情報収集・確認調査

# 太平洋島嶼国にとっての「観光」



\*2019年を基準(0)とした場合

【2019年比】外国人訪問者数（オセアニア地域）

出所：UNWTO Tourism Recovery Trackerを参照に調査団作成

(<https://www.unwto.org/tourism-data/unwto-tourism-recovery-tracker>)

# 太平洋島嶼国にとっての「観光」

地域	メラネシア地域	ポリネシア地域	ミクロネシア地域
			
Pre-Covid (2019)	1,333,968人 (100%)	663,856人 (100%)	38,389人 (100%)
Under-Covid(2021)	61,559人 (2019年比:5%)	96,555人 (2019年比:15%)	34人 (2019年比:1%未満)
Post-Covid (2022)	821,584人 (2019年比: 62%)	397,631人 (2019年比: 60%)	5,114人 (2019年比: 13%)

## 太平洋島嶼国外国人訪問者数

出所：SPTO(2023) 2022-Annual Visitor Arrivals Reportを参照に調査団作成

# 本日のアジェンダ

サバイイ島の溶岩原  
(サモア) ⇒



出所：調査団撮影

世界で最も近づける  
タンナ島の火山 (バヌアツ)



⇒  
出所：SPTO

「前段」  
太平洋島嶼国  
にとっての「観光」

事業/活動  
概要 & 成果

観光事業の  
可能性

【その他】  
・ブローシャー紹介  
・ネットワーク紹介



出所：調査団撮影

←廃ガラスを再利用して作  
るお土産 (パラオ)



出所：調査団撮影

←古代文明の世界文化遺産  
(ミクロネシア連邦)

# 事業/活動概要&成果

## 目的

観光セクターの振興により、太平洋島嶼国・地域の経済成長の回復を促す。

## 活動 1: 日本・太平洋島嶼地域 持続可能なグローバルツーリズムネットワークの設立と実施

本ネットワークは、日本及び太平洋島嶼国・地域の参加者に対し、「知の共有」、「事業検討」、「セミナー・研修」の機会を提供する。本ネットワークの主な目的は、「相互理解」を促進するだけでなく、「新たな観光ビジネスの機会を創出する」ことである **(2024年5月31日現在：登録者数 96人)**。

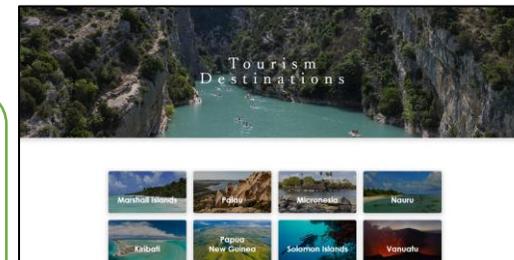


## 活動 2: 16か国/地域のブローシャの作成

ブローシャのターゲットは、太平洋島嶼国/地域になじみがない日本人観光客とする。このブローシャの主な目的は、①日本人観光客に太平洋島嶼国・地域の魅力をアピールし、②太平洋島嶼国/地域に興味を持ってもらい、③興味のある国・地域を検索するなどの「最初のアクション」を起こしてもらうことである。

## 活動 3: オンラインビジネスプラットフォームへの観光コンテンツの提供

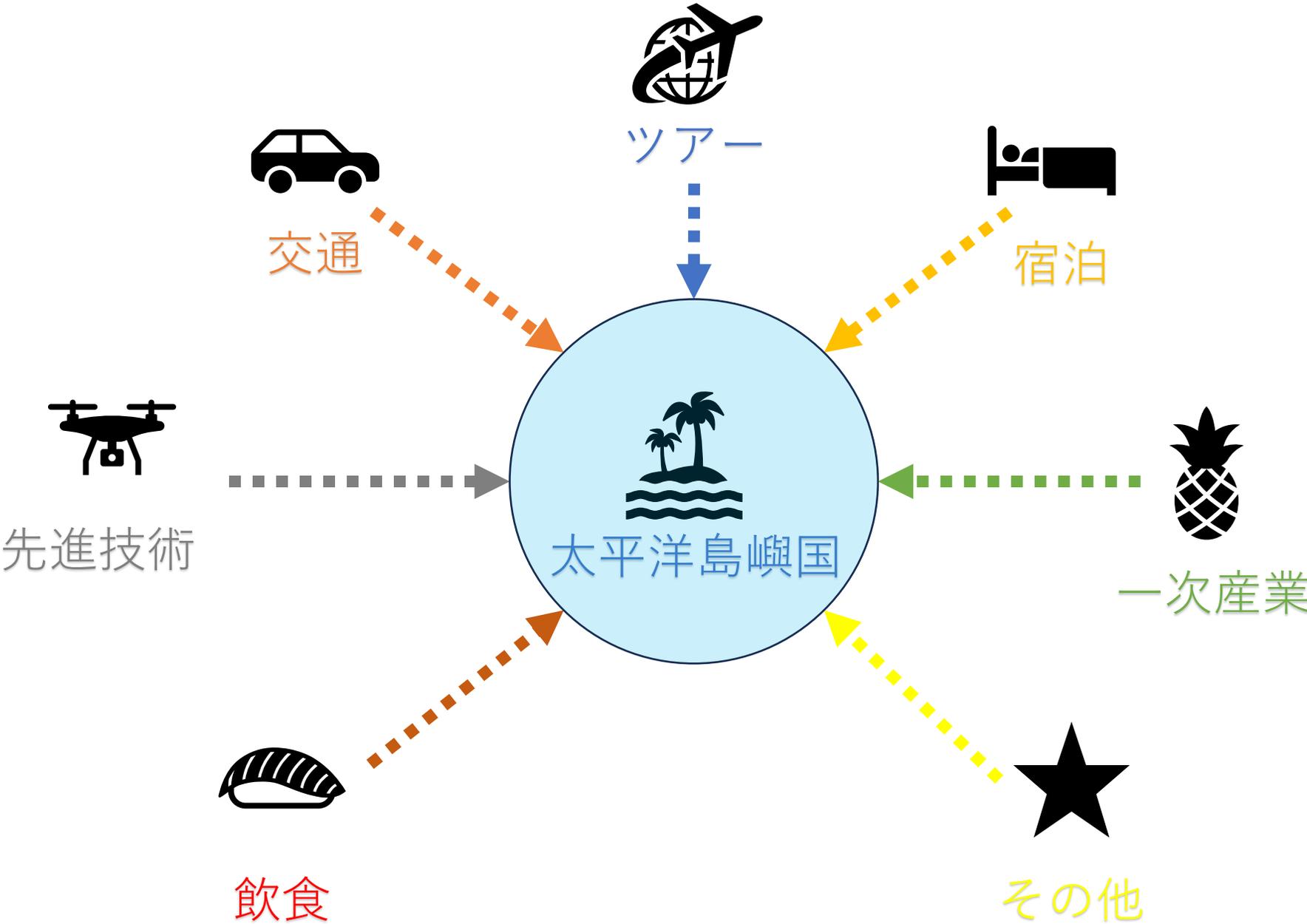
オンラインビジネスマッチングプラットフォームのWebサイトに、ブローシャやネットワーク実施報告書などを含む観光コンテンツを提供する。コンテンツ例：各国・地域の紹介、各国・地域のブローシャ、各国観光局Webサイトや公式SNS (Facebook等) などへのリンク。



# 事業/活動概要&成果

事業/活動	成果
1 日本・太平洋島嶼地域持続可能なグローバルツーリズムネットワークの設立と実施	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2023年10月に設立</li><li>● 参加登録者人数：96名（日本67名（民間25名）、太平洋島嶼国：29名（民間7名））</li><li>● テーマ別分科会：2回<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 2023年11月：地域資源を活用した観光開発（32名）</li><li>➢ 2024年4月：火山を活用した観光開発（51名）</li></ul></li><li>● セミナー/研修：3回<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 2023年12月：太平洋島嶼国における持続可能な観光商品開発（52名）</li><li>➢ 2024年1月：ドローンを活用した観光PR（44名）</li><li>➢ 2024年2月：観光資源としての星空とその撮影技術（38名）</li></ul></li><li>● 事業検討分科会：2回<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 2024年3月：現地観光ツアー実施</li><li>➢ 2024年5月：現地教育関連研修実施</li></ul></li></ul>
2 16か国/地域のブローシャの作成	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 16か国/地域のブローシャ作成（日本語版&amp;英語版）【最終化中】</li><li>■ 16か国/地域のブローシャの配布【2024年7月以降想定】</li></ul>
3 オンラインビジネスプラットフォームへの観光コンテンツの提供	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ オンラインビジネスプラットフォームにおける観光コンテンツへの情報提供【プラットフォーム構築中】</li></ul>

# 観光関連事業の可能性



# 観光関連事業の可能性

区分け	観光関連事業例
<u>ツアー</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>👉 「海」以外の観光資源（星、火山など）を活用した一般観光客ツアーの造成</li><li>👉 <u>現地の取り組み（環境保護など）に着目した教育機関向けスタディツアーの造成</u></li><li>👉 文化・歴史を軸としたツアーの造成</li><li>👉 長期滞在プログラムを軸としたツアーの造成</li><li>👉 <u>太平洋島嶼地域を周遊するアイランドホッピングツアーの実施</u></li></ul>
交通	🚗 観光地へのアクセス改善を目的とした環境に優しい交通システムの導入
<u>農業</u>	🌾 <u>狭い国土でも地産地消が可能となる農業の実施</u>
<u>宿泊</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>🏨 <u>恒常的に不足している中級ホテルなどの宿泊施設の建設・運営</u></li><li>🏨 <u>民泊事業の運営</u></li></ul>
<u>飲食</u>	🍴 <u>日本の食文化に類似性を持つ地域での日本食レストランの運営</u>
先端技術	🚁 ドローンなどの先進技術を活用した観光プロモーション事業の共同実施
<u>その他</u>	<ul style="list-style-type: none"><li>☆ 現地土産の開発・販売</li><li>☆ <u>太平洋島嶼地域から日本への誘客（インバウンド促進）</u></li></ul>

# 観光関連事業の可能性

区分け

観光関連事業例

ツアー

- 🌿 現地の取り組み（環境保護など）に着目した教育機関向けスタディツアーの造成
- 🌿 太平洋島嶼地域を周遊するアイランドホッピングツアーの実施



## ①教育機関向けスタディツアー@パラオ

環境保全への取り組みが最も進んでいる国のひとつ。パラオプレッジ、サンゴに有害な日焼け止めの禁止だけでなく、ベラウエコグラスのように完全循環型のリサイクルセンターを持つ。実際に日本の学校の訪問を受け入れ実績も有り。

## ②アイランドホッピングツアー@太平洋島嶼全域

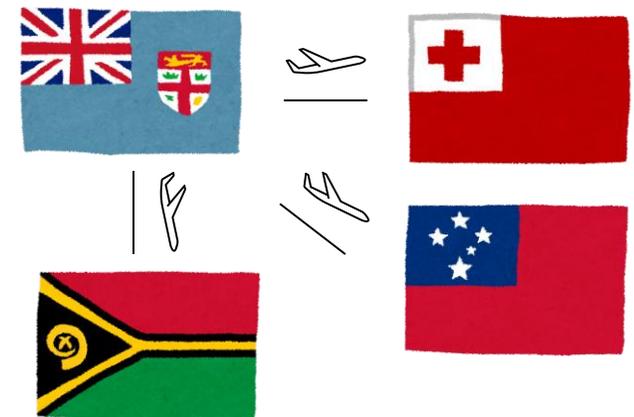
日本から直行便があるフィジー（メラネシア地域）から、文化圏が異なるポリネシア地域のトンガやサモアへ行ったり、ナウル航空のアイランドホッパーで、パラオ⇒ミクロネシア連邦⇒マーシャル諸島⇒キリバス⇒ナウル⇒フィジーを回るなども可能。



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影



メラネシア地域をとことん味わう！

ポリネシア地域で新しい文化を味わう！

# 観光関連事業の可能性

## 区分け

## 観光関連事業例

### 宿泊

- 恒常的に不足しているホテルなどの宿泊施設の建設・運営
- 民泊事業の運営



#### ①ホテルの建設・運営@フィジー、サモアなど

フィジーでは世界各国からの観光客増加により、ホテルが慢性的に不足している。日本だけでなく、オーストラリアやニュージーランドなどの近隣諸国からの観光客をターゲットにしたホテルの需要は高い。

#### ②民泊事業@バヌアツ、サモア、マーシャル諸島など

大規模なイベント（パシフィックゲームズなど）などが行われると、宿泊施設が瞬く間に埋まり、一般家庭が宿泊先となることがあった。民泊事業が始まることで、観光客を受けいれるキャパシティが広がり、さらに現地住民に直接的な収入向上につながる。



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影



出所：調査団撮影

# 観光関連事業の可能性

区分け

観光関連事業例

飲食

🍴 日本の食文化に類似性を持つ地域での**日本食レストランの運営**

①**日本食レストランの運営@サモア、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦など**

「生魚」を食べる習慣を持つ国が多い。たとえば、サモアでは、サシミや日本で有名な醤油メーカーの名前が良く知られており、身近な食べ物となっている。また、醤油と砂糖で甘辛く煮込んだ豚肉があり、その味わいは角煮とほぼ同じであった、日本食が受け入れられる素地は十分にある。



出所：調査団撮影

サモアのマグロのたたき。ホテルのメニューにほとんどある。



出所：調査団撮影

マーシャル諸島の刺身弁当。打ち合わせのランチにできるほど身近。



出所：調査団撮影

サモアのケケプア（饅頭）。中身は角煮に近い味の豚肉。<sup>13</sup>

# 観光関連事業の可能性

## 区分け 観光関連事業例

一次産業 ① 狭い国土でも 地産地消が可能となる農業 の実施



### ① 栽培技術の導入@マーシャル諸島など

多くの太平洋島嶼国は農作物（特に野菜）を輸入に依存しており、「現地の食材で現地の食べ物を食べたい」という観光客ニーズを満たすことが難しい。水耕栽培などの国土面積に拠らない農業技術を導入することで、ニーズを満たすだけでなく食料安全保障にも資する。



出所：調査団撮影

## 区分け 観光関連事業例

その他 ☆ 太平洋島嶼地域から 日本への誘客（インバウンド促進）



### ① インバウンド促進@フィジー、サモアなど

フィジーやサモアでは「日本の観光事情」と「日本の観光事業者」について聞かれ、日本を旅行目的地（デスティネーション）として捉えていた。サモアでは日本で行われたラグビーワールドカップを観戦するために、日本へ渡航した現地の人もいた。また、インドネシアのバリ島でウェディングをあげたり、オーストラリアに旅行するサモア人も増えているとのことであった。

# その他① グローカルツーリズムネットワーク紹介

## 【コンセプト&活動】

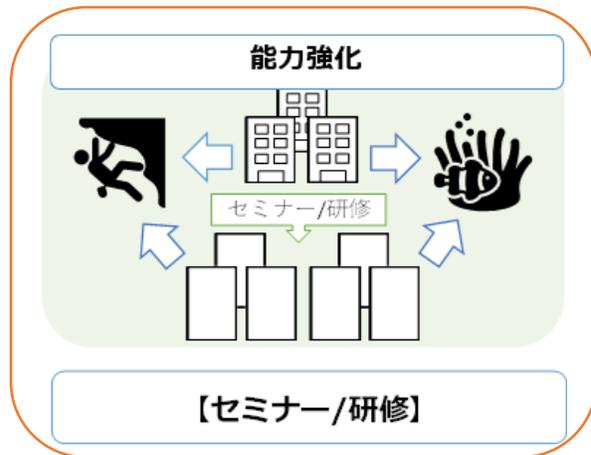
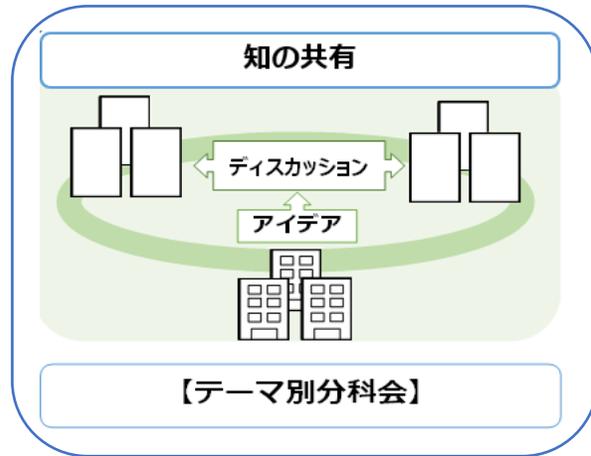
- 「新たな観光ビジネスの機会を創出すること」を目的とし、2023年10月に設立。
- 参加登録者人数は、2024年5月31日現在で「96名」（日本67名（民間25名）、太平洋島嶼国：29名（民間7名））。
- 日本及び太平洋島嶼国・地域の行政機関、学術団体、民間事業者などに対し、以下の活動を通して「知の共有」、「事業検討」、「能力強化」の機会を提供。
  - **テーマ別分科会**：特定のテーマに沿って登壇者が事例を発表する。課題・教訓・事業機会などの**知の共有**を図り、参加者は新しい観光事業のアイデアを獲得する。
  - **観光事業検討分科会**：テーマ別分科会もしくはセミナー/研修の実施を経て創出された観光事業を検討する。グローバルツーリズムネットワークは、場の設定とファシリテーションを行う
  - **セミナー/研修**：観光関連に係るセミナー/研修の場を参加者に提供する。民間事業者には、自社事業をアピールする場としても活用してもらい、参加者との観光事業の共創を促す

## グローバルツーリズムネットワーク



# その他① グローカルツーリズムネットワーク紹介

## 【現状&実績&成果】



第1回テーマ別分科会：地域資源を活用した観光開発（神津島×フィジー）  
（参加人数：32名【太平洋側：3名】）

第2回テーマ別分科会：火山を活用した観光開発（三宅島×サモア×バヌアツ）  
（参加人数：51名【太平洋側：20名】）

第1回セミナー：太平洋島嶼国における持続可能な観光商品開発（UN Tourism）  
（参加人数：52名【太平洋側3名】）

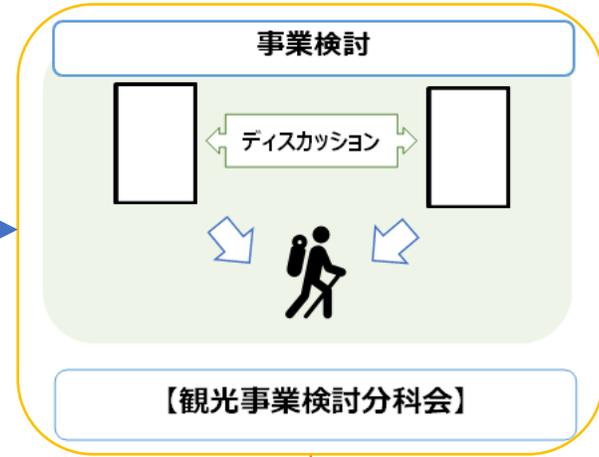
第2回セミナー：ドローンを活用した観光PR（ドローンエンタテインメント 横田氏）  
（参加人数：44名【太平洋側8名】）

第3回セミナー：観光資源としての星空とその撮影技術（写真家/週末冒険家 山下氏）  
（参加人数：38名【太平洋側：12名】）

観光関連研修

助成金/補助金活用

ツアー実施



面談申し込み

星空撮影ツアー

事業実施

# その他② ブローシャー紹介

## 【コンセプト&活動】

- ターゲットは、太平洋島嶼国/地域になじみがない**日本人観光客**
- 主な目的は、日本人観光客に「**最初のアクション**」を起こしてもらうこと。
- ブローシャを通じて、日本人観光客に太平洋島嶼国・地域の**魅力をアピール**し、太平洋島嶼国/地域に**興味を持ってもらい**、③興味のある国・地域を**検索するなどの「最初のアクション」**を起こしてもらう。
- ブローシャーはデジタル化（日・英）し、日本および太平洋島嶼国/地域の観光関連機関と事業者が自由に使えるようにする。
- ブローシャーの特徴は以下のとおり。
  - **網羅性**：16か国/地域の観光情報を収録。観光地として有名なフィジー、パラオ、ニューカレドニア、仏領ポリネシア（タヒチ）以外にも、**日本人に馴染みが薄い国/地域も含めた**。
  - **公平性**：観光資源や開発度合いに差はあるが、**すべての国/地域を見開き1ページずつの分量**にまとめた。
  - **多様性**：「青い海」「白い砂浜」「優しい人々」など、すべての太平洋島嶼国/地域にほぼ共通する観光資源/要素だけでなく、**各国/地域が持つ特色ある観光資源に焦点**を当てた。
  - **娯楽性**：フローチャートやクイズを入れたり、モデルコースを見せたりすることで、ブローシャーを読む楽しさを念頭に置いた。また、クイズの答えを他の国/地域のページに記載することで、**読者の興味・関心が他国/地域に広がる**ように工夫した。

アクティブに過ごしたい？

or

のんびり過ごしたい？

# 自分にぴったりの旅を見つけよう!

アクティブ派? のんびり派?

秘境で冒険したい?  
or  
スポーツを楽しみたい?

秘境で冒険

スポーツ

自然

歴史文化

素敵なリゾート環境で  
ゆっくり過ごしたい

自然について知りたい?  
or  
歴史文化に興味がある?

新しいことを知りたい

旅行先で新しいことを知りたい?  
or  
何もしない贅沢な時間を  
過ごしたい

贅沢な時間を過ごしたい

何もかも包み込んでくれる  
雄大な自然に抱かれたい

太平洋島しょ国の  
歴史文化に触れたい

素敵なリゾート環境で  
ゆっくり過ごしたい

## 秘境で冒険

- p.13-14 ミクロネシア連邦:ジブ島
- p.21-22 マーシャル群島:ピキニ珊瑚
- p.19-20 キリバス:世界で一番早い日の出
- p.23-24 ナウル:リン鉱石採掘場
- p.31-32 パプアニューギニア:セビック川
- p.39-40 ツバル:フナフティ海洋保護区
- p.41-42 パヌアツ:火山

## スポーツを楽しむ

- p.17-18 仏領ポリネシア(タヒチの島々):野生イルカとダイビング
- p.23-24 ナウル:ゲームフィッシング
- p.33-34 サモア:鷹つばダイブ
- p.37-38 トンガ:ホエールスイミング

## 自然を満喫

- p.11-12 クック諸島:黒真珠
- p.19-20 キリバス:クリスマス島の自然
- p.25-26 ニューカレドニア:映画の舞台となったウベア島
- p.27-28 ニウエ:70m先まで見える海の透明度、世界初の星空保護区
- p.29-30 パラオ:世界遺産のロックアイランド
- p.35-36 ソロモン群島:100種類以上の花、鳥、蝶
- p.39-40 ツバル:絶滅の危機に瀕しているアオウミガメ
- p.41-42 パヌアツ:ジュゴン探検ツアー、火山

## 歴史文化に触れる

- p.13-14 ミクロネシア連邦:世界遺産のナンマドール遺跡や石炭
- p.15-16 フィジー:インド文化
- p.21-22 マーシャル群島:伝統的工芸品「アミノノ」
- p.27-28 ニウエ:ヴィレッジショーデー(村の紹介日)
- p.29-30 パラオ:ベリリュウ島
- p.31-32 パプアニューギニア:ラバウル戦線、シンシンショー
- p.33-34 サモア:伝統家屋のファレ
- p.35-36 ソロモン群島:骸骨島、石造りの島
- p.37-38 トンガ:太平洋の島々で唯一の王国

## リゾートでゆったり

- p.11-12 クック諸島:ラロトンガ島のリゾート
- p.15-16 フィジー:デナラウのリゾート
- p.17-18 仏領ポリネシア(タヒチの島々):ボラボラ島
- p.25-26 ニューカレドニア:メトル島・ヌメアの街



# FEDERATED STATES OF MICRONESIA

## ミクロネシア連邦

4つの州で異なる魅力を発見できる国

ミクロネシア連邦は607の島々からなる、地球上でもまれにみられるような場所の一つです。赤道の北、約100万回の特異な高緯度が広がり、独自の文化と手つかずの豊かな生物多様性があふれています。ミクロネシア連邦は、西のバラオから東のマーシャル諸島にかけて広がる、広大な海域に位置しています。ここは西太平洋の大きな高気圧、黒潮と北赤道海流が出会う場所であり、世界屈指のサンゴ礁と海洋生物が広がっています。島の数々が待っていることは、まさに手つかずの豊かな自然に恵まれた楽園です！ヤップ州、チューク州、ポンペイ州、コスラエ州という4つのユニークな島々から成るミクロネシア連邦。それぞれの州には、特有の自然、生態系、文化があり、さまざまな文化があふれた楽園です。



観光地情報  
 最西端(アメリカ)→チューク(ミクロネシア連邦)→ポンペイ(ミクロネシア連邦)→コスラエ(ミクロネシア連邦)  
 最東端(アメリカ)→ヤップ(ミクロネシア連邦)



© David Kirkland & SPTO

### 初級モデルコース 沈船ダイビングと謎の世界遺産

- 1日目
- AM ● グアム経由でチューク州に到着
- PM ● 穏やかな海でシュノーケリングを楽しもう！イルカに遭遇できるかも？
- 2日目
- AM ● 沈船ダイビングを楽しもう！(※ダイビング経験者向け)  
 驚くべき埋蔵品や謎の古代文明の痕跡を  
 ダイビングを通して発見しよう
- PM ● 日本のテレビ番組でも有名！景色に選ばれた島、チュークのジープ島へ、美しい海でダイビングやシュノーケリングを  
 楽しもう。そのまぶらジープ島に宿泊、美しい夜景の下でゆったりとした時間を過ごそう
- 3日目
- All day ● ジープ島でリラックスした時間を過ごし、夕方にチューク州のウエノ島に渡る
- 4日目
- AM ● チューク州からポンペイへ移動
- PM ● ランチをとってからココア市街へ！スパ・ビーチ、ドライブ観音などをめぐ
- 5日目
- All day ● ホナムを先出し、世界遺産のナンマル遺跡へ  
 (世紀ごころから約1000年をかけて築かれた100もの人工島から  
 なる「天地の真珠」という意味の海上都市遺跡  
 ナンマルの遺跡とつながるケブレイの滝も訪問)
- 6日目
- AM ● マンタロードでシュノーケリング
- PM ● マングローブの森をカヤックでまわろう
- 7日目
- AM ● 高層ビルはソックスマンテンヘイキングへ、第二次世界大戦  
 最後の日本軍司令部跡を巡る。その後はポンガラマンガール、  
 マングローブの森をカヤックでまわろう。日本に誇りに思っている島を巡る
- PM ● 最後はミクロネシア連邦を体験！  
 お昼は美しい自然の海を眺めながら、サウワを飲むのせいか、バーで一番  
 ポンペイからグアムへ移動、翌日日本へ帰国
- (オプションプラン)  
 もっとミクロネシア連邦を体験したい人はコスラエ州にも足を延ばそう！  
 コスラエは日本から最も近いミクロネシア連邦の最東端に位置する州。自然に恵まれた  
 コスラエ州では、神代石の森・イェラエの森・美しいサンゴの森でのダイビングが楽しめる

### 中級モデルコース ヤップでミクロネシアの伝統を体験

- 1日目
- AM ● グアムを渡航し、ヤップに到着
- PM ● まずはヤップの伝統文化を体験するため、ガイドさん付きの  
 ビレッジツアーに参加しよう。ヤップならではの巨大な石貨や  
 伝統的な祭典などヤップの文化に触れる
- 2日目
- AM ● マンタやサメを堪能できるダイビングやシュノーケリングに参加。  
 ヤップの自然を体験しよう
- PM ● 伝統的なカヌー乗船ツアーで現地の文化を体験しよう
- 3日目
- All day ● 美しい自然を堪能するは、ヤップの伝統文化を学ぶ体験ツアーに参加しよう！  
 ミクロネシア連邦の魅力をたっぷり紹介  
 するYouTubeチャンネルはこちら
- 4日目
- AM ● 東京にヤップを体験してグアムへ向かい、帰国

オンライン情報  
**Rainbownesia TV**  
 ミクロネシア連邦の魅力をたっぷり紹介  
 するYouTubeチャンネルはこちら

#### ヤップ州

石貨の地  
 ミクロネシア連邦の中でも最も歴史が長いヤップ州。ヤップの島々には独自の巨大な石貨(ストーン・マネー)があり、島々で約1750年使われてきた。石貨は、島々の交易や贈り物のために使われてきた。現在も使われている。中には100年以上の歴史を持つ石貨も、大切に保管されている。ヤップ州は、島々の歴史や文化を体験できる。石貨の地を訪れると、石貨の歴史や文化を体験できる。石貨の地を訪れると、石貨の歴史や文化を体験できる。



#### チューク州

歴史が語る地  
 世界最大規模のシュノーケリングスポット、数々の歴史に  
 輝いた島々。遺跡や自然の美しさを堪能できる。チューク州は、  
 歴史が語る地。遺跡や自然の美しさを堪能できる。チューク州は、  
 歴史が語る地。遺跡や自然の美しさを堪能できる。



#### ポンペイ州

神秘の地  
 ミクロネシア連邦の神秘的な島々。神秘的な島々。神秘的な島々。  
 ミクロネシア連邦の神秘的な島々。神秘的な島々。神秘的な島々。



ミクロネシアを構成する4つの州

#### コスラエ州

自然に恵まれた地  
 200種を超えるカメノゴの森の森に囲まれている。自然に恵まれた地。  
 200種を超えるカメノゴの森の森に囲まれている。自然に恵まれた地。

Q ミクロネシアのポンペイにあるナンマル遺跡は日本のあるおとどろきの  
 モデルと賞われています。そのおとどろきとは何でしょうか？

答えは p.30 に!

#### コラム1 コスラエ州のイェラエの森

現在、イェラエの森は保護区となっています。世界最大の「カ」の木の本生林であり、その多くの木が中絶種や絶滅危惧種です。また、ここはコスラエでも最も美しい自然光のスポットです。イェラエの森は、自然の美しさを堪能できる。イェラエの森には、貴重な小動物が暮らしている。イェラエの森には、貴重な小動物が暮らしている。

#### コラム2 チューク州のジープ島

日本のTV番組でも有名！景色に選ばれた島、チュークのウエノ島からボートで約30-40分のヤシの木が広がる島。ジープ島は、島を一周するのに3-5分かかります。美しい海でダイビングやシュノーケリングを楽しんだ後は、電気がない美しい夜景のもと、ここで美しいゆたゆたとした時間を体験しよう！

A tropical beach scene at sunset. The sky is a mix of blue and orange, with the sun low on the horizon. Several palm trees are silhouetted against the sky. In the foreground, there are several thatched huts with wooden tables and chairs. Two people are sitting at a table on the right, looking out at the ocean. The water is calm and reflects the sunset colors.

ご清聴ありがとうございました。